

# I. 調査の概要

## 1. 調査の背景

この調査は、市民生活及び市政に関する市民の意見や要望を把握し、戸田市のより良いまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的に、昭和 50 年より 4 年ごとに実施しています。今回の調査で第 12 回目となり、調査開始から 40 年以上が経過しました。これまで、定点調査として継続的に調査を実施することにより、市民意識の経年変化を捉え、その時代に合った市政運営に活かしてきました。

厳しさを増す財政状況や変化の激しい社会情勢の中で、より一層多様化する市民ニーズを適確に把握し、効率的かつ効果的な市政運営を展開するため、基礎調査としての本調査の位置づけはより重要なものとなっていきます。

## 2. 調査設計

- (1) 調査地域：戸田市全域
- (2) 調査対象：平成 30 年 4 月 1 日現在、市内に在住する満 16 歳以上の市民
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 抽出方法：無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送による配布・回収
- (6) 調査期間：平成 30 年 8 月 1 日～8 月 31 日（返送期日）

## 3. 回収状況

- (1) 有効標本数：3,000 人    (2) 有効回答数：1,172 人    (3) 回収率：39.1%

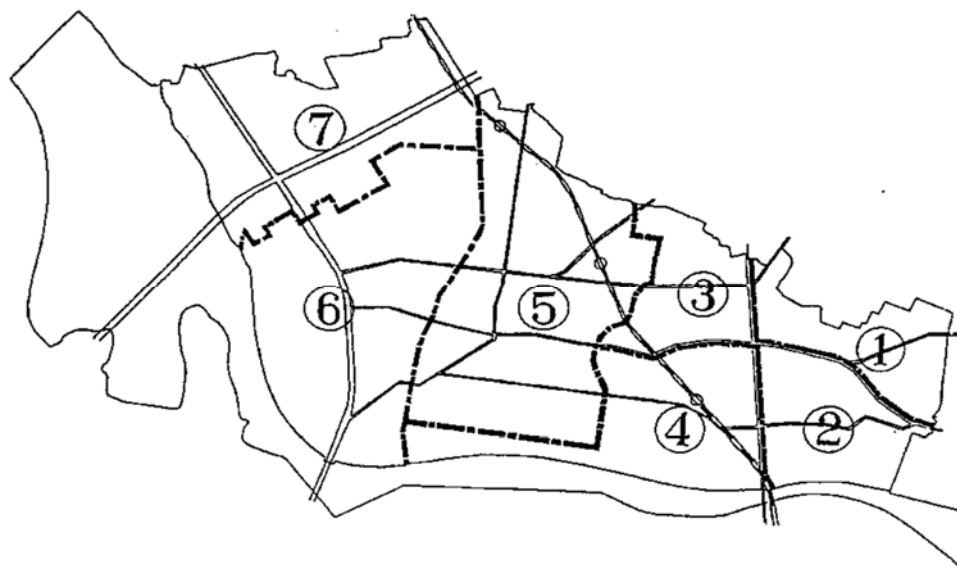
## 4. 調査の内容

- |                |           |          |
|----------------|-----------|----------|
| ①フェースシート（標本属性） | ②定住意向     | ③まちのイメージ |
| ④健康づくり         | ⑤子育て      | ⑥高齢化     |
| ⑦生活環境          | ⑧地域コミュニティ | ⑨市政への参加  |
| ⑩保養事業          | ⑪戸田市の取り組み |          |

## 5. 地区区分

市内を次の7つの地区に区分して調査、集計、分析を行いました。

1. 下戸田1地区（喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目）
2. 下戸田2地区（喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目）
3. 上戸田1地区（上戸田1～5丁目、大字上戸田）
4. 上戸田2地区（川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園）
5. 新曽地区（大字新曽、新曽南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目）
6. 笹目地区（笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目）
7. 美女木地区（美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木）



## 6. 集計・分析に当たって

- ・ 図表中の（n=\*（\*は自然数））と年度や属性の後の（ ）内は、集計母数を表しています。
- ・ 原則として、図表の単位は%としています。
- ・ 回答割合（%）は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、属性ごとの回答割合の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 回答割合（%）は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの回答割合を合計すると100.0%を超えることがあります。
- ・ 過去の調査と選択肢等が異なる設問の経年比較については、類似の選択肢を用いている場合があります。

## 7. 標本誤差

この調査は無作為抽出法により行ったものであるため、標本抽出にともなう標本誤差を数学的に計算することが可能です。以下に、信頼水準 95% の場合の誤差算出式と早見表を掲載します。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{(N-n) / (N-1) \times P(1-P) / n}$$

N = 母集団の数 (戸田市の 16 歳以上人口 138,960 人、平成 30 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口)

n = 各設問の回答数      P = 各回答の回答比率

回答比率 (%) 回答数 (人)	10 (または 90)	20 (または 80)	30 (または 70)	40 (または 60)	50
1,172	±1.71	±2.28	±2.61	±2.79	±2.85
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.03	±3.09
900	±1.95	±2.60	±2.98	±3.19	±3.26
800	±2.07	±2.76	±3.17	±3.39	±3.45
700	±2.22	±2.96	±3.39	±3.62	±3.69
600	±2.40	±3.19	±3.66	±3.91	±3.99
500	±2.62	±3.50	±4.01	±4.29	±4.37
400	±2.94	±3.91	±4.48	±4.79	±4.89
300	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
200	±4.15	±5.54	±6.35	±6.78	±6.92
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

〈この表の見方〉

- 例えば、問 17 で戸田市に住んでいる理由について、「ここで育ったから」と回答したのが 31.4% (n=1,172) の場合、上表で値の近い「30 (または 70)」の欄の「1,172」の行をみると、標本誤差は±2.61%となります。したがって、本市の 16 歳以上の全市民に同じ質問をした場合、標本誤差を考慮すると、31.4%±2.61% (28.79%~34.01%) の人が「ここで育ったから」と回答する確率 (信頼水準) が 95% である、と見ることができます。

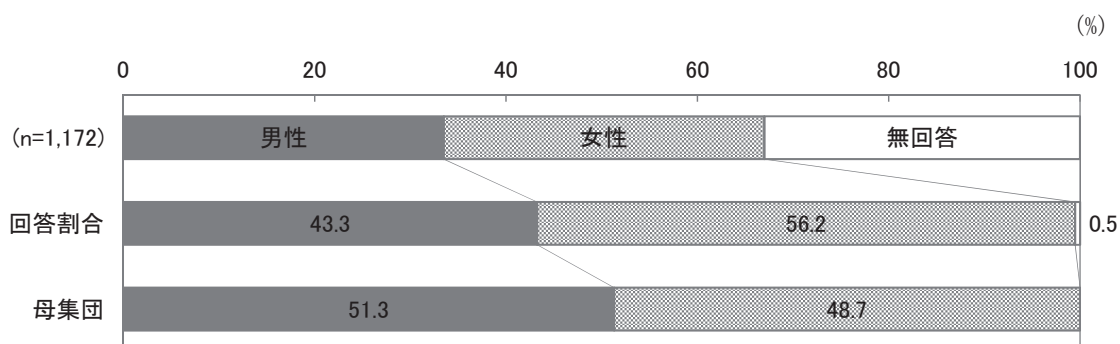
## 8. 回答者の属性

### 問1 性別

回答者 1,172 人のうち、男性は 43.3%、女性は 56.2%でした。

調査対象母集団(平成 30 年 4 月 1 日現在の 16 歳以上人口)の性別構成比は、男性 51.3%、女性 48.7%であったため、女性の回答割合が高くなっています。

図表 1 性別(全体)

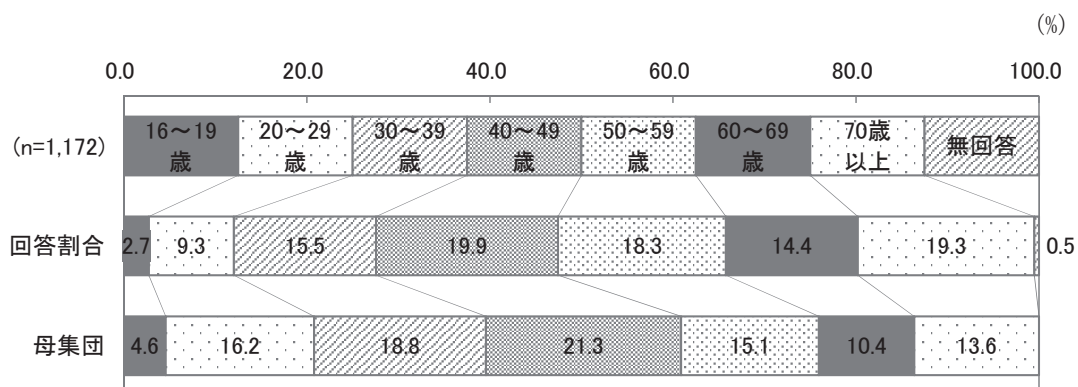


### 問2 年齢

回答者の年齢構成は、40 歳代の割合が 19.9%で最も高く、次いで 70 歳以上が 19.3%、50 歳代 18.3%、30 歳代 15.5%となっています。

調査対象母集団の年齢別構成比は、16~19 歳 4.6%、20 歳代 16.2%、30 歳代 18.8%、40 歳代 21.3%、50 歳代 15.1%、60 歳代 10.4%、70 歳以上 13.6%となっています。よって、40 歳未満の回答割合が少なく、50 歳以上の回答割合が多くなっています。

図表 2 年齢(全体)



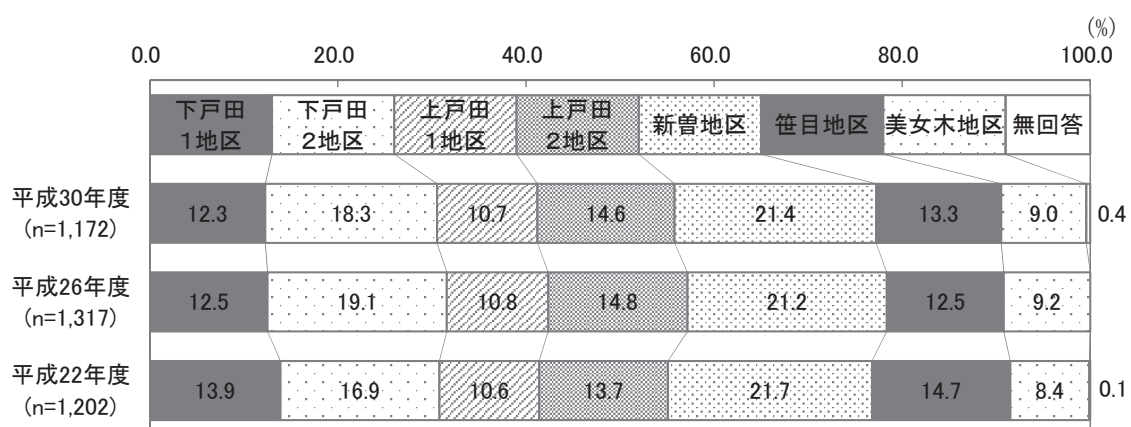
### 問3 居住地区

居住地区別にみると、新曽地区の割合が21.4%と最も多く、次いで下戸田2地区が18.3%、上戸田2地区が14.6%となっています。最も少ないのは美女木地区の9.0%で、前回調査と比較して、大きな相違はありません。

調査基準となった平成30年4月1日現在の町丁目別人口構成比は、下戸田1地区12.1%、下戸田2地区17.1%、上戸田1地区9.8%、上戸田2地区13.5%、新曽地区23.1%、笹目地区14.5%、美女木地区9.9%となっています。

また、居住地区別でみると、美女木地区、下戸田1地区、笹目地区の順に60歳以上の割合が高くなっています。

図表3 居住地区(全体)



図表4 居住地区別年齢構成表

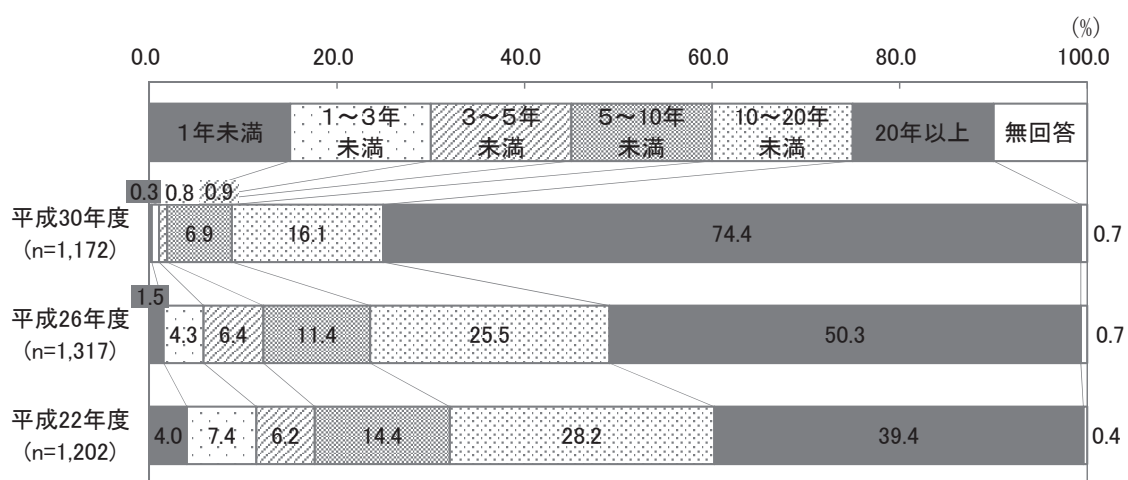
		16	20	30	40	50	60	70	無回答
		5	5	5	5	5	5	歳以上	
		19	29	39	49	59	69		
		歳	歳	歳	歳	歳	歳		
	全体 (1,172)	2.7	9.3	15.5	19.9	18.3	14.4	19.3	0.5
居住地区別	下戸田1地区 (144)	1.4	11.1	12.5	18.1	15.3	18.8	22.9	0.0
	下戸田2地区 (214)	2.3	7.9	20.1	22.0	15.9	15.0	16.4	0.5
	上戸田1地区 (125)	4.0	5.6	18.4	15.2	22.4	15.2	18.4	0.8
	上戸田2地区 (171)	3.5	9.4	14.0	18.7	22.8	10.5	19.9	1.2
	新曽地区 (251)	2.8	12.7	14.3	24.7	20.7	9.2	15.5	0.0
	笹目地区 (156)	2.6	7.7	10.9	17.9	17.3	18.6	24.4	0.6
	美女木地区 (106)	2.8	7.5	18.9	17.9	12.3	17.9	21.7	0.9

#### 問4 居住期間

居住期間は、「20年以上」が74.4%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が16.1%となっています。

これまでの推移をみると、「20年以上」は平成22年度調査から大幅に増加している傾向にあり、平成26年度調査から24.1ポイント上回っています。一方、「10年以上20年未満」は9.4ポイント下回っています。

図表5 居住期間(全体)



図表6 居住期間(居住地区別)

		1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10~20年未満	20年以上	無回答
全体(1,172)		0.3	0.8	0.9	6.9	16.1	74.4	0.7
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.0	0.0	2.1	2.8	10.4	84.0	0.7
	下戸田2地区(214)	0.5	0.5	0.5	9.3	16.4	72.0	0.9
	上戸田1地区(125)	0.0	0.8	0.8	10.4	15.2	72.0	0.8
	上戸田2地区(171)	0.0	0.6	1.2	7.6	17.5	72.5	0.6
	新曽地区(251)	0.4	1.6	1.2	6.8	23.9	66.1	0.0
	笹目地区(156)	0.0	0.0	0.0	1.3	10.3	87.8	0.6
	美女木地区(106)	0.9	0.9	0.0	11.3	13.2	71.7	1.9

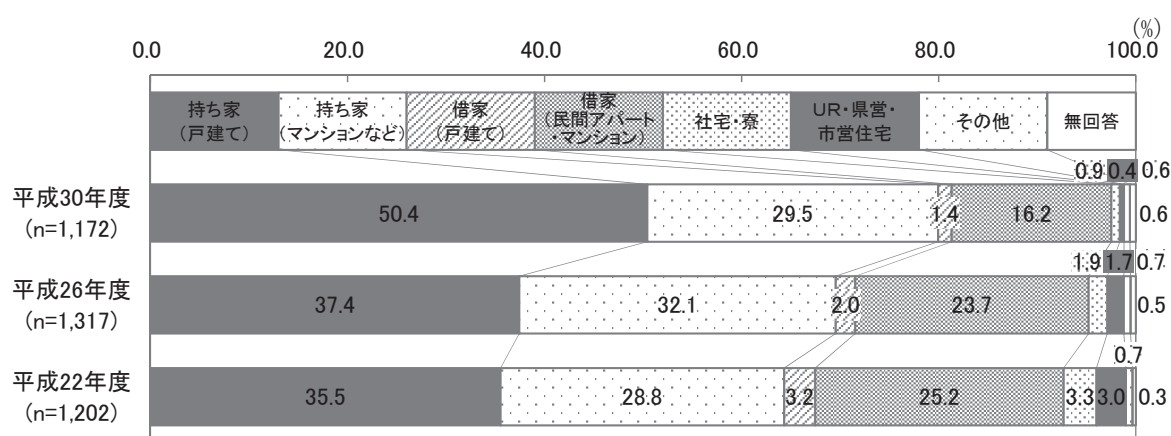
## 問5 住宅の種類

住宅の種類については、「持ち家（戸建て）」が 50.4%、「持ち家（マンションなど）」が 29.5%となっており、これらを合わせた持ち家比率が 79.9%となっています。

これまでの推移をみると、持ち家比率は増加傾向にあり、平成 26 年度調査から 10.4 ポイント高くなっています。

持ち家に着目し、居住地区別にみると、下戸田 1 地区、上戸田 1 地区、新曽地区、笹目地区及び美女木地区は「持ち家（戸建て）」が「持ち家（マンションなど）」よりも多く、下戸田 2 地区及び上戸田 2 地区では「持ち家（マンションなど）」が多くなっています。

図表 7 住宅の種類(全体)



図表 8 住宅の種類(居住地区別)

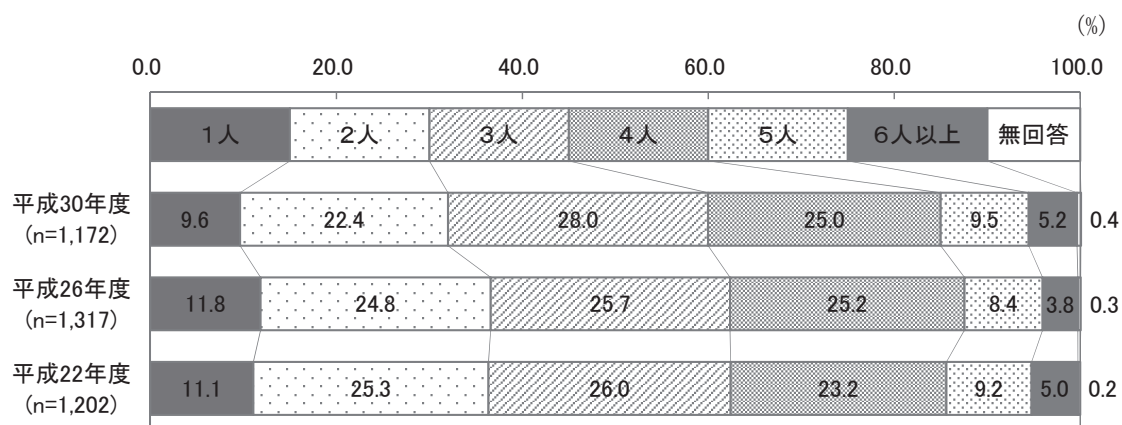
居住地区別	持ち家(戸建て)	持ち家(マンションなど)	借家(戸建て)	借家(民間アパート・マンション)	社宅・寮	UR・県営・市営住宅	その他	無回答
全体(1,172)	50.4	29.5	1.4	16.2	0.9	0.4	0.6	0.6
下戸田 1 地区(144)	63.9	18.1	2.1	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0
下戸田 2 地区(214)	35.5	48.6	1.4	9.3	0.9	2.3	1.4	0.5
上戸田 1 地区(125)	51.2	28.0	1.6	16.8	0.8	0.0	0.8	0.8
上戸田 2 地区(171)	36.8	39.8	1.2	21.6	0.6	0.0	0.0	0.0
新曽地区(251)	42.6	33.9	1.2	19.5	0.8	0.0	0.4	1.6
笹目地区(156)	75.6	7.7	1.3	14.1	0.6	0.0	0.6	0.0
美女木地区(106)	66.0	13.2	0.9	15.1	2.8	0.0	0.9	0.9

## 問6 家族の人数

回答者自身も含めた同居の家族の人数については、「3人」が28.0%で最も多く、次いで「4人」、「2人」となっています。

これまでの推移をみると、平成26年度調査と比較して「3人」の家族が2.3ポイント高くなっています。

図表9 家族の人数(全体)

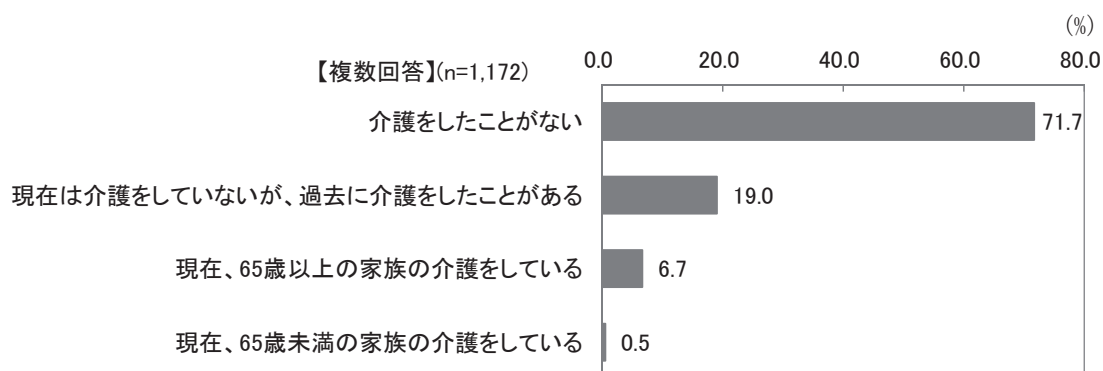




## 問7 家族の介護経験

家族の介護経験については、「介護をしたことがない」が71.7%と最も高く、次いで「現在は介護をしていないが、過去に介護をしたことがある」が19.0%、「現在、65歳以上の家族の介護をしている」は6.7%でした。

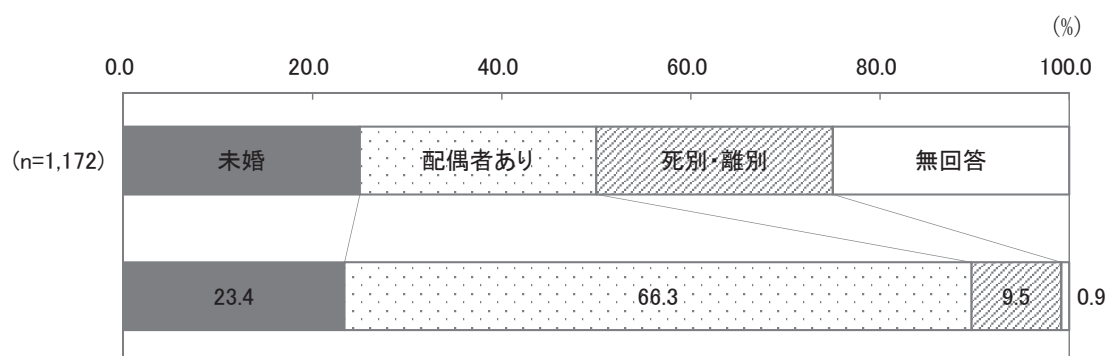
図表 10 家族の介護経験(全体)



### 問8 結婚

結婚の状況については、「未婚」が23.4%、「配偶者あり」が66.3%、「死別・離別」が9.5%でした。

図表 11 結婚(全体)

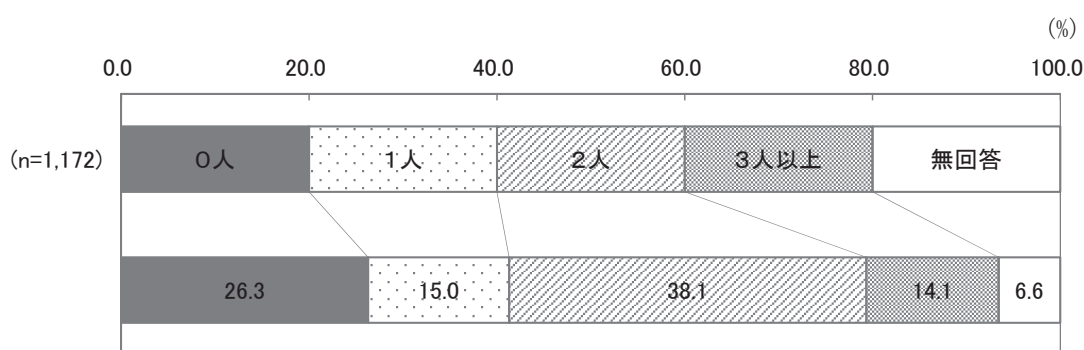


### 問9 子どもの人数と子どもの年齢

子どもの人数は、「2人」が38.1%と最も多く、次いで「0人」が26.3%でした。

また、子どもの人数別の上の子の年齢及び下の子の年齢については、子どもが1人の場合を除き、上の子、下の子ともに、「30歳以上」が最も高い割合でした。さらに、子どもの数が1人の場合は、「0～5歳」が23.9%と最も高い割合でした。

図表 12 子どもの人数と子どもの年齢(全体)



図表 13 子どもの人数と子どもの年齢

		上の子の年齢									下の子の年齢								
		0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～21歳	22～29歳	30歳以上	非該当	無回答	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～21歳	22～29歳	30歳以上	非該当	無回答
	全体 (787)	8.9	12.7	5.2	5.3	7.4	15.0	44.2		1.3	10.9	7.9	3.6	4.4	5.3	10.9	33.4		23.5
子どもの人数	0人								100.0										100.0
	1人 (176)	23.9	14.8	6.8	7.4	8.5	13.6	23.3		1.7									100.0
	2人 (446)	5.8	11.4	5.8	5.4	7.2	16.1	46.6		1.6	13.7	11.2	4.3	5.8	6.5	14.6	42.2		1.8
	3人 (144)	1.4	14.6	2.1	2.8	5.6	13.9	59.7		0.0	16.0	6.9	4.9	5.6	7.6	11.1	47.9		0.0
	4人以上 (21)	0.0	9.5	0.0	4.8	14.3	9.5	61.9		0.0	9.5	9.5	9.5	4.8	9.5	23.8	28.6		4.8

### 問10 仕事（雇用形態）

仕事については、「フルタイム正社員」が32.2%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が18.6%、「年金生活」が13.4%、「無就業」が6.6%となっています。「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計である就労中の割合は72.1%でした。

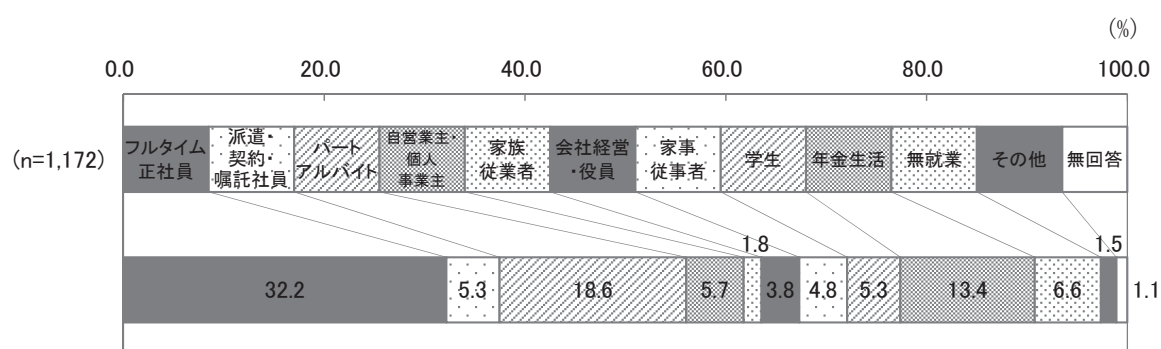
性別にみると、男性は「フルタイム正社員」が48.5%と半数近くを占めるのに対し、女性は「パート・アルバイト」が26.7%と最も高いのが特徴です。

年齢別でみると、30歳代、40歳代の「フルタイム正社員」が約50%と他の年代より高くなっており、次いで20歳代が45.9%、50歳代が42.8%となっています。

60歳代では、「フルタイム正社員」は9.5%と少ないものの、「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計が68.6%と、約3人に2人が就業しており、70歳以上では31.0%と約3人に1人が就業しています。

地区別にみると、新曽地区の「フルタイム正社員」が37.5%と他地区と比べて高いことが特徴です。

図表 14 仕事(全体)



図表 15 仕事(全体・性別・年齢別・居住地区別)

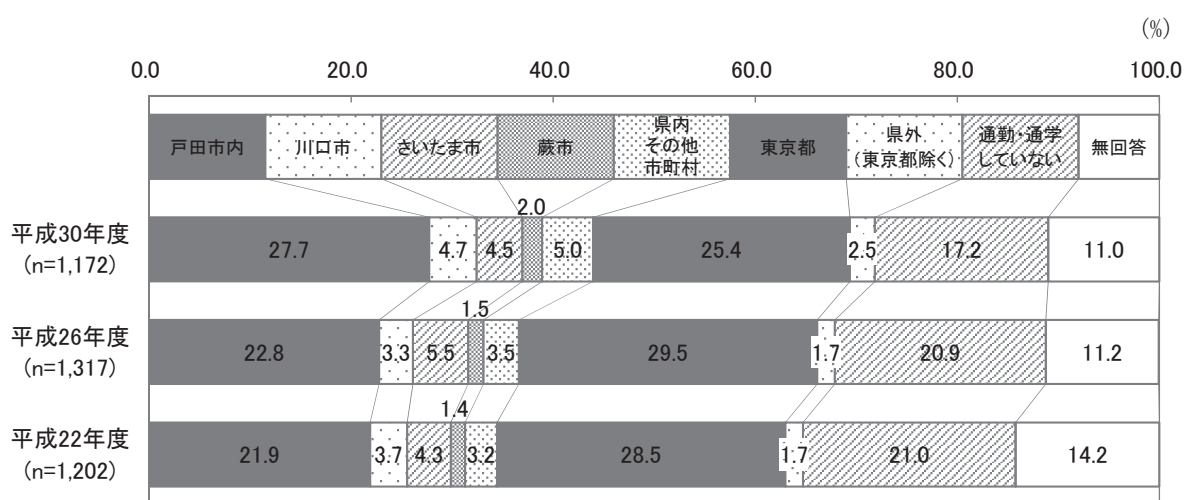
		被雇用者 フルタイム(常勤)の正社員	派遣・契約・嘱託社員	パートまたはアルバイト	自営業主・個人事業主	家族従業者	会社経営・役員	家事従事者	学生	年金生活	無就業	その他	無回答
全体(1,172)		32.2	5.3	18.6	5.7	1.8	3.8	4.8	5.3	13.4	6.6	1.5	1.1
性別	男性(507)	48.5	3.7	8.3	8.3	0.0	7.5	0.0	4.3	13.4	4.9	1.0	0.0
	女性(659)	19.9	6.5	26.7	3.8	3.2	0.9	8.5	6.1	12.7	7.9	2.0	1.8
年齢別	16~19歳(32)	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	96.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	20~29歳(109)	45.9	0.9	12.8	2.8	0.9	0.0	0.0	26.6	0.0	5.5	4.6	0.0
	30~39歳(182)	51.1	5.5	22.5	3.3	0.5	2.2	6.0	0.5	0.0	6.6	1.6	0.0
	40~49歳(233)	51.1	7.7	22.3	3.0	0.9	3.0	6.9	0.0	0.0	4.3	0.9	0.0
	50~59歳(215)	42.8	7.4	22.8	9.3	1.9	5.6	3.7	0.0	0.0	4.2	1.9	0.5
	60~69歳(169)	9.5	6.5	26.6	9.5	3.6	5.9	7.1	0.6	20.7	6.5	1.8	1.8
	70歳以上(226)	3.1	2.7	6.6	6.6	3.1	4.9	4.0	0.0	52.7	12.4	0.4	3.5
居住地区別	下戸田1地区(144)	32.6	3.5	19.4	6.9	2.1	4.2	2.8	4.2	15.3	6.3	0.7	2.1
	下戸田2地区(214)	35.5	5.6	19.2	4.2	1.4	2.3	5.6	4.7	14.0	4.2	1.9	1.4
	上戸田1地区(125)	33.6	6.4	16.8	4.0	2.4	1.6	3.2	5.6	14.4	11.2	0.8	0.0
	上戸田2地区(171)	28.1	7.6	19.9	4.1	1.2	4.7	4.1	5.8	14.6	8.2	1.8	0.0
	新曽地区(251)	37.5	2.8	20.3	6.4	1.2	1.6	6.0	7.6	8.8	5.6	1.2	1.2
	笹目地区(156)	23.7	7.1	16.0	9.0	3.2	7.1	7.1	3.8	13.5	5.8	1.9	1.9
	美女木地区(106)	29.2	5.7	16.0	5.7	1.9	7.5	2.8	3.8	16.0	7.5	2.8	0.9

### 問 11 通勤・通学地

通勤・通学している人の通勤・通学先としては、「戸田市内」が 27.7%と最も多く、次いで「東京都」が 25.4%となっており、隣接市（川口市、さいたま市、蕨市の計）は 11.2%にとどまっています。

これまでの推移をみると、平成 26 年度調査までは「東京都」、「戸田市内」の順でしたが、今回調査で順位が逆転しています。

図表 16 通勤・通学地(全体)



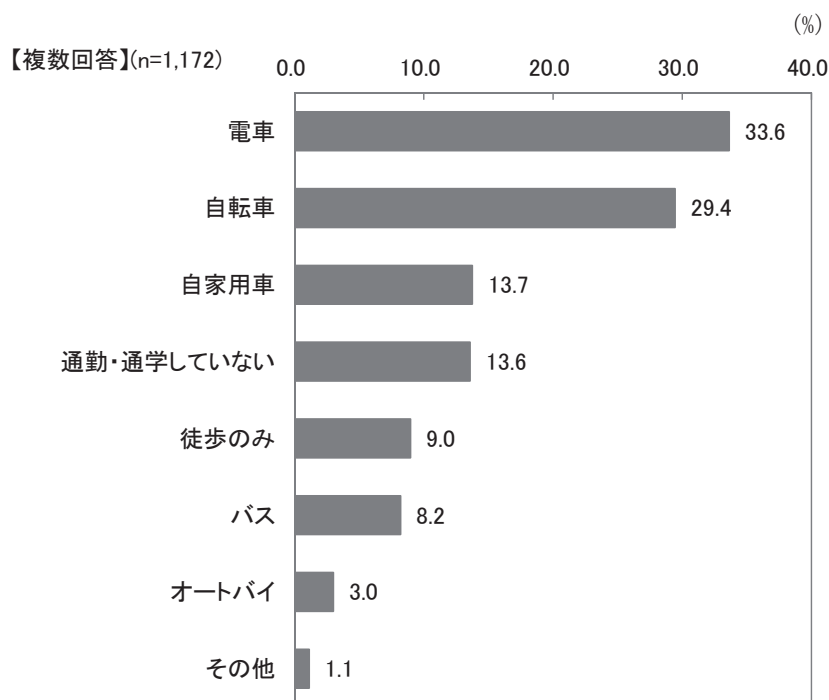
## 問 12 通勤・通学の交通手段

通勤・通学の交通手段では、「電車」が 33.6%と最も高く、次いで「自転車」が 29.4%でした。

居住地区別にみると、鉄道 3 駅がある上戸田 1 地区、上戸田 2 地区及び新曽地区の 3 地区に加えて下戸田 2 地区は、「電車」の割合が他地区より高くなっています。一方、下戸田 1 地区、笹目地区及び美女木地区は、「自家用車」の割合が他地区より高くなっています。

通勤・通学地別でみると、「戸田市内」は「自転車」(54.8%)に次いで「徒歩のみ」(24.6%)が高くなっています。「東京都」や「さいたま市」は「電車」の割合が高くなっています。また、他の通勤・通学地と比べて、「川口市」は「自家用車」(45.5%)が高く、「蕨市」は「自転車」(60.9%)が高いことが特徴です。

図表 17 通勤・通学の交通手段(全体)



図表 18 通勤・通学の交通手段(全体・居住地区別・通勤通学地別)

		徒歩のみ	電車	自家用車	バス	自転車	オートバイ	通勤・通学していない	その他
全体(1,172)		9.0	33.6	13.7	8.2	29.4	3.0	13.6	1.1
居住地区別	下戸田1地区(144)	9.0	29.9	19.4	11.8	33.3	2.8	12.5	0.7
	下戸田2地区(214)	9.8	40.2	9.8	11.2	33.6	1.9	9.3	0.5
	上戸田1地区(125)	6.4	36.0	9.6	5.6	31.2	0.8	15.2	0.8
	上戸田2地区(171)	9.9	35.7	8.2	4.1	18.7	2.9	14.6	0.6
	新曽地区(251)	9.2	39.8	12.0	6.8	30.3	2.4	13.1	1.2
	笹目地区(156)	8.3	23.7	19.2	7.1	27.6	5.8	17.3	3.2
	美女木地区(106)	9.4	19.8	24.5	11.3	29.2	5.7	16.0	0.9
通勤・通学地別	戸田市内(325)	24.6	1.8	19.1	4.3	54.8	5.5	4.0	2.5
	川口市(55)	3.6	16.4	45.5	20.0	40.0	9.1	0.0	0.0
	さいたま市(53)	7.5	66.0	18.9	18.9	43.4	1.9	0.0	0.0
	蕨市(23)	4.3	4.3	21.7	4.3	60.9	13.0	0.0	0.0
	県内その他の市町村(59)	1.7	67.8	30.5	28.8	25.4	6.8	1.7	1.7
	東京都(298)	3.0	91.6	10.4	11.4	26.5	1.0	0.0	0.7
	県外(東京都を除く)(29)	13.8	82.8	17.2	20.7	17.2	0.0	0.0	3.4
	通勤・通学していない(201)	0.5	2.0	1.0	1.0	3.0	0.5	71.1	0.5



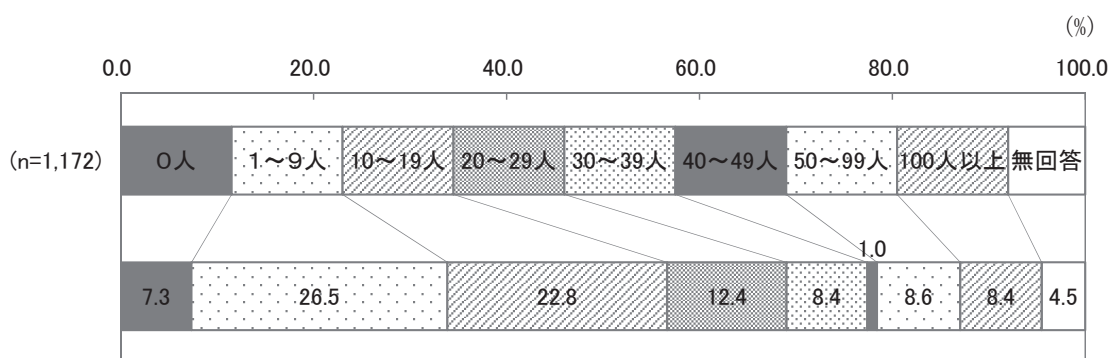
### 問 13 友人・知人

戸田市に住んでいる友人・知人の数は、「1～9人」が26.5%と最も多く、次いで「10～19人」が22.8%でした。

性別で見ると、男性の「0人」、「1～9人」及び「100人以上」の割合が女性に比べ高くなっています。

年齢別で見ると、16～19歳では「50～99人」及び「100人以上」の割合が高くなっています。一方で、その他年代は、「1～9人」及び「10～19人」の割合が高くなっています。

図表 19 友人・知人(全体)



図表 20 友人・知人(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		0 人	1 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 39 人	40 ～ 49 人	50 ～ 99 人	1 00 人 以上	無 回 答
全体(1,172)		7.3	26.5	22.8	12.4	8.4	1.0	8.6	8.4	4.5
性別	男性(507)	9.7	29.4	22.5	10.7	7.5	0.4	6.7	8.7	4.5
	女性(659)	5.6	24.6	22.6	13.8	9.1	1.4	10.2	8.3	4.4
年齢別	16～19歳(32)	0.0	9.4	15.6	15.6	12.5	3.1	18.8	25.0	0.0
	20～29歳(109)	9.2	24.8	16.5	13.8	9.2	0.9	10.1	11.0	4.6
	30～39歳(182)	12.1	24.2	22.5	14.3	8.8	0.5	7.1	7.1	3.3
	40～49歳(233)	12.0	24.9	20.6	9.9	6.9	2.6	10.7	9.4	3.0
	50～59歳(215)	6.0	28.4	22.8	12.6	11.6	0.5	7.4	8.4	2.3
	60～69歳(169)	5.3	29.6	21.3	14.2	8.3	0.0	7.1	9.5	4.7
	70歳以上(226)	1.8	30.1	29.2	11.1	5.8	0.4	7.5	4.4	9.7
居住地区別	下戸田1地区(144)	6.3	27.8	24.3	13.9	4.9	0.0	8.3	9.0	5.6
	下戸田2地区(214)	8.4	34.6	18.2	10.7	10.3	0.5	7.0	7.0	3.3
	上戸田1地区(125)	8.0	21.6	19.2	15.2	11.2	0.8	13.6	5.6	4.8
	上戸田2地区(171)	8.8	28.1	26.3	7.6	7.0	1.2	9.4	7.6	4.1
	新曽地区(251)	7.2	23.9	26.3	15.1	5.2	1.2	8.4	8.4	4.4
	笹目地区(156)	5.1	19.9	23.7	12.2	14.1	1.3	9.6	9.6	4.5
	美女木地区(106)	7.5	27.4	19.8	9.4	7.5	2.8	4.7	14.2	6.6

#### 問 14 友人・知人との関係

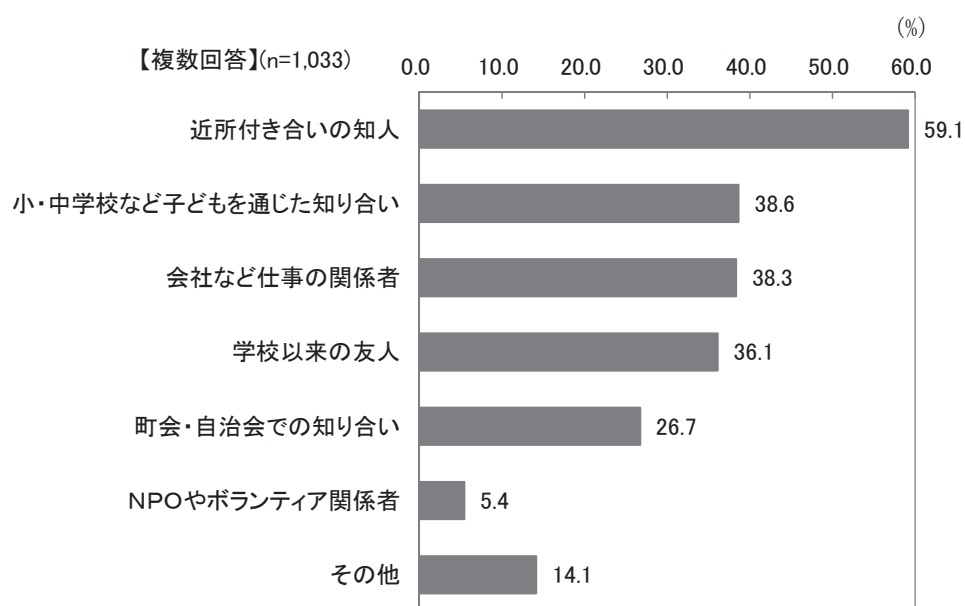
全標本 1,172 のうち、友人・知人の数が 1 人以上の標本は、1,033 でした。これを友人・知人との関係を考える際の集計母数  $n$  とします。

友人・知人との関係は、「近所付き合い」が 59.1%で最も多く、次いで「小・中学校など子どもを通じた知り合い」が 38.6%、「会社など仕事の関係者」が 38.3%でした。一方、低い値となったのは、「NPO・ボランティア関係者」の 5.4%でした。

性別にみると、特に女性の「小・中学校など子どもを通じた知り合い」が 50.4%と男性の 23.0%の 2 倍以上であることが特徴です。

年齢別にみると、「町会・自治会での知り合い」において、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。また、30 歳代から 50 歳代までの「小・中学校など子どもを通じた知り合い」の割合が他の年代に比べ高くなっています。

図表 21 友人・知人との関係(全体)



図表 22 友人・知人との関係(全体・性別・年齢別・居住地区別・友人・知人の数別)

		学校以来の友人	近所付き合いの知人	会社など仕事の関係者	町会・自治会での知り合い	NPOやボランティア関係者	小・中学校など子どもを通じた知り合い	その他
全体(1,033)		36.1	59.1	38.3	26.7	5.4	38.6	14.1
性別	男性(435)	42.3	51.5	40.7	23.4	5.1	23.0	13.3
	女性(593)	31.9	64.8	36.8	28.7	5.7	50.4	14.7
年齢別	16~19歳(32)	96.9	59.4	3.1	9.4	0.0	15.6	9.4
	20~29歳(94)	86.2	47.9	21.3	4.3	1.1	17.0	9.6
	30~39歳(154)	41.6	48.1	48.7	11.7	3.2	45.5	11.7
	40~49歳(198)	37.4	62.1	44.4	22.7	3.5	56.6	11.6
	50~59歳(197)	28.4	56.9	45.7	27.9	8.1	48.7	14.7
	60~69歳(152)	23.0	65.1	39.5	35.5	6.6	37.5	17.1
	70歳以上(200)	16.0	67.5	30.0	46.0	8.0	20.5	18.5
居住地区別	下戸田1地区(127)	37.8	59.8	38.6	30.7	5.5	41.7	11.8
	下戸田2地区(189)	33.3	58.2	34.4	16.9	4.2	32.8	11.1
	上戸田1地区(109)	30.3	57.8	34.9	28.4	0.9	45.9	18.3
	上戸田2地区(149)	30.9	63.8	36.9	21.5	8.1	38.3	16.8
	新曽地区(222)	36.0	54.1	37.4	21.2	5.4	39.6	14.0
	笹目地区(141)	44.7	65.2	46.1	41.1	5.7	40.4	15.6
	美女木地区(91)	41.8	59.3	42.9	40.7	8.8	33.0	12.1
友人・知人の数別	1~5人(269)	25.3	37.5	31.6	8.9	0.7	17.8	14.5
	6~10人(264)	26.5	53.0	33.0	18.6	3.8	31.4	12.5
	11~50人(387)	43.4	70.5	41.6	36.2	5.9	52.5	13.7
	51~100人(81)	48.1	82.7	49.4	51.9	14.8	54.3	23.5
	101人以上(32)	87.5	93.8	71.9	65.6	28.1	65.6	6.3

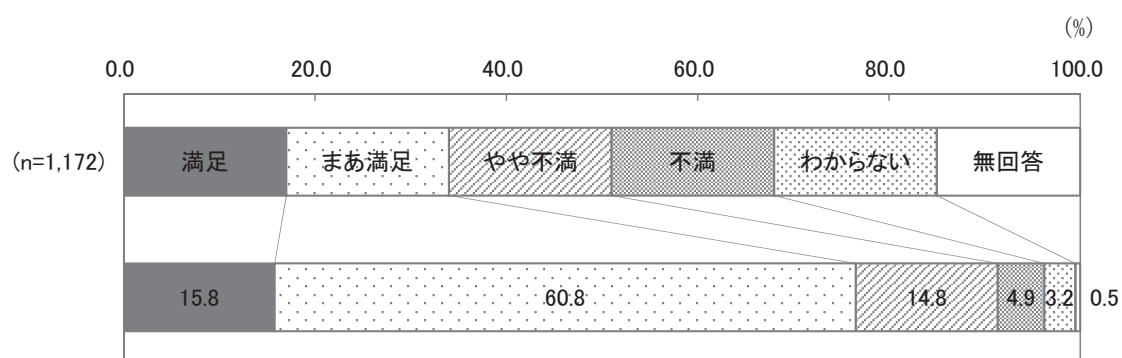
### 問 15 生活満足度

全般的な生活満足度については、「満足」(15.8%)及び「まあ満足」(60.8%)を合わせると76.6%であり、約4人に3人は満足しているという結果でした。また、「やや不満」は14.8%、「不満」は4.9%でした。

年齢別にみると、年齢が上がるほど満足度は低くなる傾向が見られますが、70歳以上では、「満足」が15.9%と高くなっています。また、どの年代においても、「満足」及び「まあ満足」を合わせると70%を超えています。

居住地区別では、上戸田1地区と上戸田2地区では「満足」及び「まあ満足」を合せると80%を超えています。一方、「不満」及び「やや不満」を合わせると、最も高いのは下戸田1地区の27.1%であり、次いで新曽地区の22.3%となっています。

図表 23 生活満足度(全体)



図表 24 生活満足度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	全体(1,172)	15.8	60.8	14.8	4.9	3.2	0.5
性別	男性(507)	14.2	60.4	15.2	5.7	3.9	0.6
	女性(659)	17.0	61.2	14.7	3.9	2.7	0.5
年齢別	16～19歳(32)	31.3	59.4	3.1	3.1	3.1	0.0
	20～29歳(109)	21.1	56.0	10.1	6.4	6.4	0.0
	30～39歳(182)	16.5	57.1	14.8	8.2	3.3	0.0
	40～49歳(233)	15.9	64.8	13.3	2.1	3.0	0.9
	50～59歳(215)	13.5	60.9	16.7	4.2	3.7	0.9
	60～69歳(169)	11.2	65.1	17.2	4.7	1.8	0.0
	70歳以上(226)	15.9	58.4	17.3	4.9	2.7	0.9
居住地区別	下戸田1地区(144)	11.8	56.9	19.4	7.6	3.5	0.7
	下戸田2地区(214)	15.0	61.2	15.0	5.1	3.7	0.0
	上戸田1地区(125)	16.8	63.2	12.8	3.2	4.0	0.0
	上戸田2地区(171)	18.7	63.7	10.5	1.8	3.5	1.8
	新曽地区(251)	15.1	60.6	15.9	6.4	2.0	0.0
	笹目地区(156)	14.7	64.1	14.1	4.5	2.6	0.0
	美女木地区(106)	20.8	53.8	16.0	2.8	4.7	1.9